

須賀川市地域福祉に関するアンケート調査 集計結果報告

【民生委員対象分】

【目 次】

I	調査概要	1
1	調査対象	1
2	調査方法	1
3	調査実施	1
4	回収結果	1
II	調査結果	2
1	回答者について	2
2	須賀川市の地域福祉について	2
III	調査結果のまとめ	6

I 調査概要

1 調査対象

- ◇ 地域福祉に関わる活動を行っている民生委員

2 調査方法

- ◇ 郵送配布・回収及びヒアリング形式による収集

3 調査実施

- ◇ 配布日 令和5年6月15日 回収期限 令和5年7月26日

4 回収結果

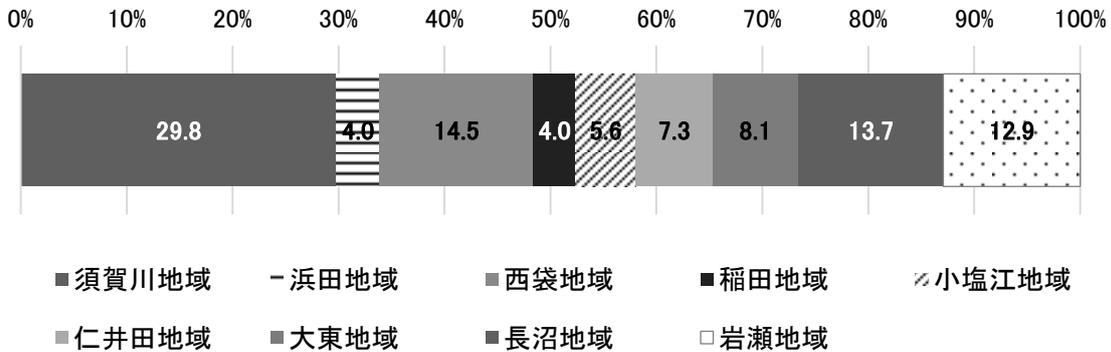
- ◇ 配布数 160人
- ◇ 回収数 124人
- ◇ 回収率 77.5%

Ⅱ 調査結果

1 回答者について

- 「須賀川地域」が29.8%で最も高く、次いで「西袋地区」(14.5%)となっている。

問1 あなたの居住する地域を教えてください



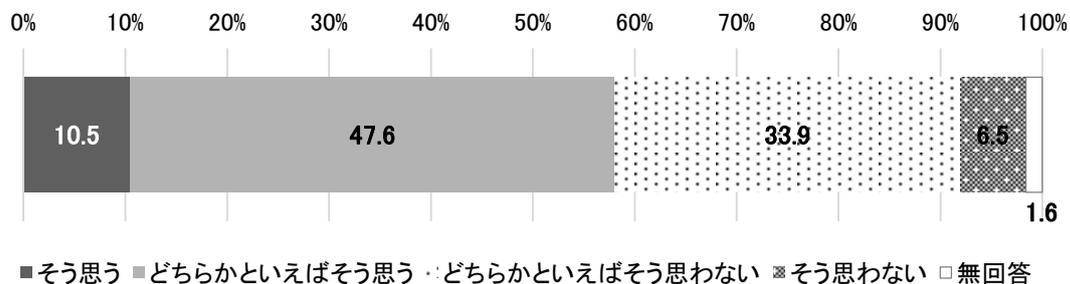
総数	須賀川地域	浜田地域	西袋地域	稲田地域	小塩江地域	仁井田地域	大東地域	長沼地域	岩瀬地域
124	37	5	18	5	7	9	10	17	16
100.0%	29.8%	4.0%	14.5%	4.0%	5.6%	7.3%	8.1%	13.7%	12.9%

2 須賀川市の地域福祉について

(1) 「ともに支え合う福祉社会」になっていると思うか

- 「そう思う」(10.5%)及び「どちらかといえばそう思う」(47.6%)をあわせて58.1%となっており、回答者の6割弱はともに支え合う地域社会が形成されていると考えている。

問3 須賀川市では、福祉に関する相談・支援体制が充実し、子どもや高齢者、障がい者など全ての人々が地域において支え合いながら暮らす「ともに支え合う福祉社会」が形成できていると思いますか

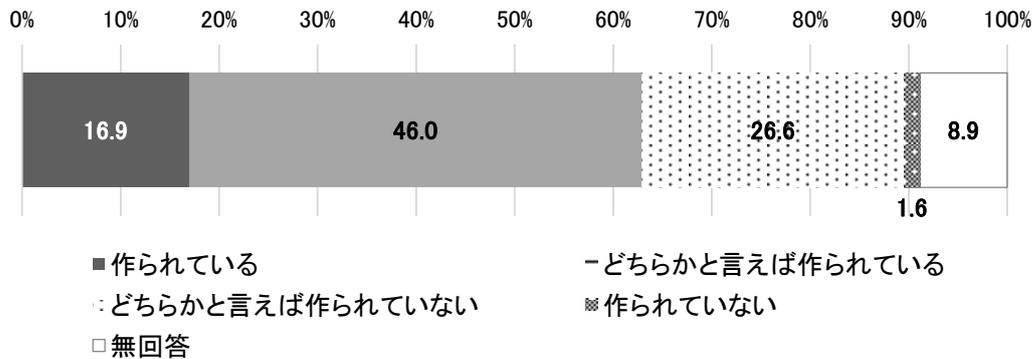


総数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
124	13	59	42	8	2
100.0%	10.5%	47.6%	33.9%	6.5%	1.6%

(2) 社会福祉に関する様々なネットワークがあると思うか

- 「作られている」(16.9%)及び「どちらかと言えば作られている」(46.0%)をあわせて回答者の6割強を占めている。

問4 須賀川市において、何か問題が起こった際に、社会福祉協議会や行政等関係機関が連携するネットワークが作られていると思いますか

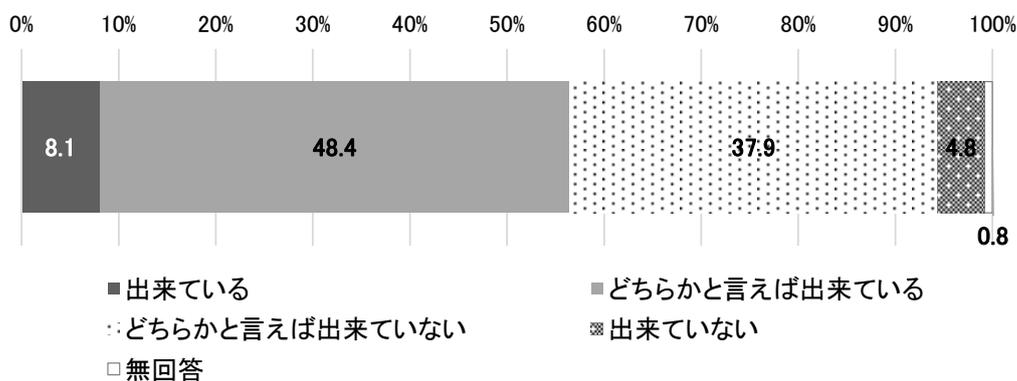


総数	作られている	どちらかと言えば作られている	どちらかと言えば作られていない	作られていない	無回答
124	21	57	33	2	11
100.0%	16.9%	46.0%	26.6%	1.6%	8.9%

(3) 住民同士の支え合いのまちづくりが出来ていると思うか

- 「出来ている」(8.1%)及び「どちらかと言えば出来ている」(48.4%)をあわせて回答者の過半数を占めている。

問5 あなたの居住する地域において、地域の誰もが生き生きと安心して暮らせるよう、住民同士の支え合いのまちづくりが出来ていると思いますか

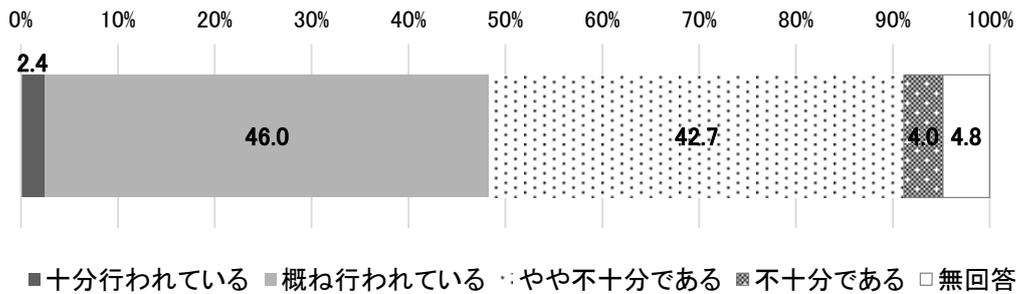


総数	出来ている	どちらかと言えば出来ている	どちらかと言えば出来ていない	出来ていない	無回答
124	10	60	47	6	1
100.0%	8.1%	48.4%	37.9%	4.8%	0.8%

(4) 地域における「見守り」が行われていると思うか

- 「十分行われている」(2.4%)及び「概ね行われている」(46.0%)をあわせて48.4%となっており、「不十分である」+「やや不十分である」=46.7%をやや上回っている。

問6 あなたの居住する地域において、高齢者や障がい者、母子世帯等に対する見守りが行われていると思いますか

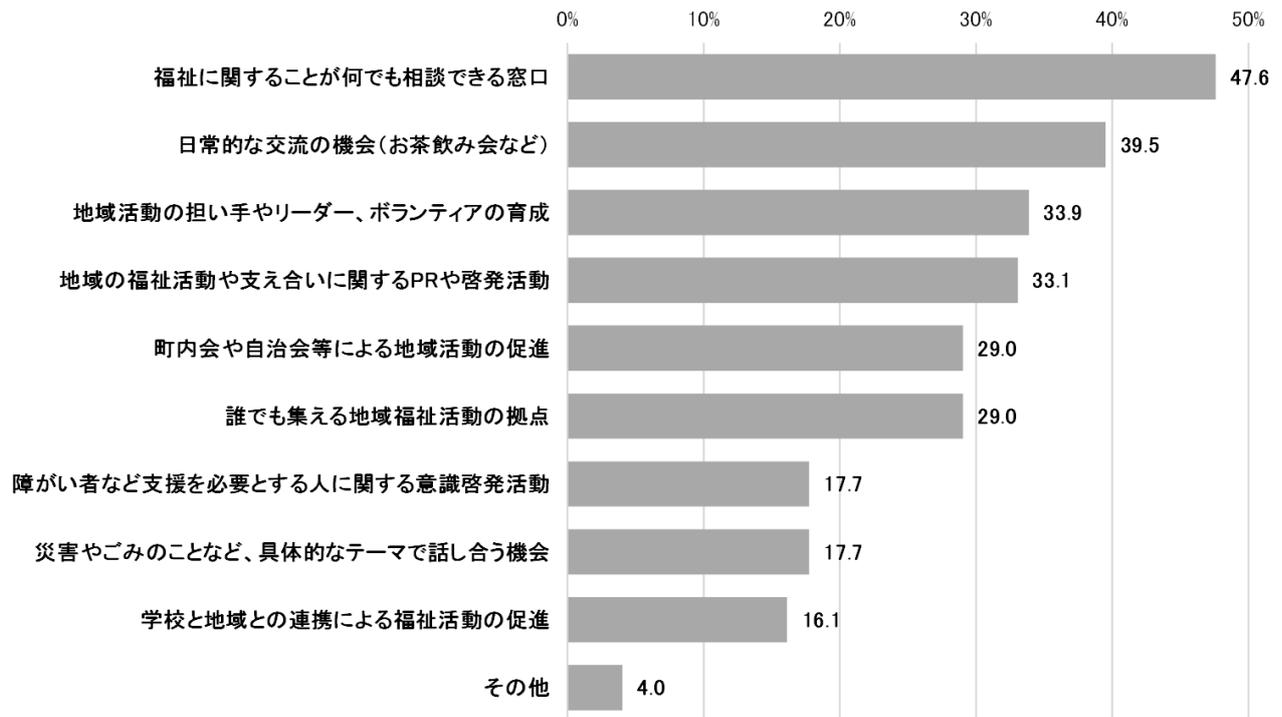


総数	十分行われている	概ね行われている	やや不十分である	不十分である	無回答
124	3	57	53	5	6
100.0%	2.4%	46.0%	42.7%	4.0%	4.8%

(5) 支え合いの地域づくりに必要な取組

- 「福祉に関することが何でも相談できる窓口」が47.6%で最も高く、次いで「日常的な交流の機会（お茶飲み会など）」(39.5%)、「地域活動の担い手やリーダー、ボランティアの育成」(33.9%) などとなっている。

問7 地域において支え合いながら暮らしていくために、あなたの地域ではどのような取組が必要だと思いますか（複数回答）



総数	福祉に関することが何でも相談できる窓口	日常的な交流の機会(お茶飲み会など)	障がい者など支援を必要とする人に関する意識啓発活動	地域の福祉活動や支え合いに関するPRや啓発活動	災害やごみのことなど、具体的なテーマで話し合う機会	地域活動の担い手やリーダー、ボランティアの育成	町内会や自治会等による地域活動の促進	誰でも集える地域福祉活動の拠点	学校と地域との連携による福祉活動の促進	その他	無回答
124	59	49	22	41	22	42	36	36	20	5	2
100.0%	47.6%	39.5%	17.7%	33.1%	17.7%	33.9%	29.0%	29.0%	16.1%	4.0%	1.6%

Ⅲ 調査結果のまとめ

1 地域福祉社会の形成やネットワークについて

○回答者の6割弱はともに支え合う地域社会が形成されていると考えており、また、社会福祉に関する様々なネットワークが概ねつくられているとする回答は6割強となっている。

2 地域住民の参画について

○住民同士の支え合いのまちづくりについては、「出来ている」(8.1%)及び「どちらかと言えば出来ている」(48.4%) あわせて回答者の過半数となっている。

○地域の「見守り」については、「十分行われている」と「概ね行われている」をあわせて48.4%で、「不十分である」+「やや不十分である」=46.7%をやや上回るものの、回答者の過半数には至っていない。

3 支え合いの地域づくりについて

○支え合いの地域づくりに必要な取組については、「福祉に関することが何でも相談できる窓口」(47.6%) が最も多く、次いで「日常的な交流の機会（お茶飲み会など）」(39.5%)、「地域活動の担い手やリーダー、ボランティアの育成」(33.9%)となっている。